

浅草見附跡

この浅草橋のたもとにある石碑は、江戸城を防御するために建てられた 36 の見張り場のひとつ、ここが浅草見附跡であることを示しています。1636 年に建てられたこの見附は枡形という正方形で壁に囲まれた守衛詰所で、まっすぐ通り抜けられないように入出口が直角に配されていました。ここに詰めていた侍は、この地域から北に伸びる奥州街道から攻撃される可能性に備えており、また多くは浅草寺を参拝しに行く途中だった江戸への旅人を検問していました。